



2005 ~ 2006 年度
R I テーマ

SERVICE Above Self 超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール ヴィルヘルム ステンハマー (国籍・スウェーデン)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキハ別府店 7 F ぼたんの間
TEL 23 - 1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	吉富今男	役員	会長	平野英壽	S A A	河村貴雄
"	溝部 仁	"	薬真寺章三		副会長	上妻 浩	直前会長	森 宗明
"	村津忠久				幹事	木村きぬゑ		
"	梅津ヤヨイ				会計	岩尾昭治		

VOL . 18 - 14
2005 年 10 月 18 日

第 794 回 例会

会報委員長 大島由美子

点 鐘 12 : 30

R S それでこそロータリー
ゲ ス ト もりた せいいち 森田 静一氏
(国際ロータリー第 2720 地区ガバナー)
おくち けんいち 小口 健一氏
(国際ロータリー第 2720 地区大分第三分区ガバナー補佐)

ビジター

有田 昭二 (杵 築)
藤塚 秀己 (")
加藤 浩二 (")
泉 達哉 (大分東)
原口 靖弘 (大分南)
安部 剛祐 (")
岩本 賢二 (")
丸尾 博康 (大分城西)
秦 文生 (")

出席報告 別府北ロータリークラブ 委員 高宮伸雄

本日 の 出 席	会 員 総 数	26 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
出 席	欠 席 数	6 名
	出 席 率	69.23 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	76.92 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
	10/4 修 正 出 席 率	100 %
連 続		2 回
通 算		705 回 100 %

会長の時間

別府北ロータリークラブ 会 長 神 日出男

別府北ロータリークラブでは、毎週会長の時間に「四季」や暦について述べさせていただいております。そして来年の6月末日には一年間の「月名」の和風読みや、四季折々の「二十四節気」等が分かる仕組みになっております。

そこで今月 10 月ですが、これは和風月名では「神無月 (かんなづき)」と呼ばれております。そして字面からも分かるように、古来より神無月説が有力です。

つまり、旧暦十月には全国の神様が出雲大社に集まる為に各地の神々が留守になりこの名称になったという説です。従って出雲の国だけは旧暦の

・メイクアップ

事前 溝部、小川 (別府)
事後 大久保
欠席 衛藤、大久保、高宮、津末、森、土谷

十月を「神在月」と呼ぶと言われております。

しかし、これには異説もたくさんあります。例えば、10月は雷が鳴らなくなることから「雷なし月」からの転訛だという説や、新しいお米で新酒を造る月だというので「醸成月 (かみなんづき)・(かもなしづき)」からきており、神無月は当て字だという説、又神無月の無は「の」の意味で「神の月」すなわち神祭りの月だという説等々です。確かに旧暦の10月はおよそ



新暦の11月にあたり、お米を収穫する時期です。各地で感謝祭が行われます。とすると「神の月」と考えた方が納得がいくかもしれません。

幹事報告

幹事 木村きぬ系

職業奉仕月間・米山月間

...本日は、『森田静一ガバナー公式訪問大分第三分区6RC合同例会』を開催致します。...

10:00 ~ 会長・幹事懇談会
(杉乃井ホテル 華館1F「リザーブルーム」)
12:30 ~ 公式訪問合同例会
(杉乃井ホテル パレス2F「真珠」)

1. 本日の卓話

『ガバナーアドレス』

国際ロータリー第2720地区ガバナー 森田静一氏

2. 本日のゲスト

もりた せいいち
森田 静一氏
(国際ロータリー第2720地区ガバナー)

おくち けんいち
小口 健一氏
(国際ロータリー第2720地区大分第三分区ガバナー補佐)

3. 10月13日(木)11:00 ~ 自衛隊別府駐屯地に於いて「別府市自衛隊協力会・役員会並びに総会」が開催され、平野英壽会長、木村きぬ系幹事が出席致しました。

4. 本日、10:00 ~ 杉乃井ホテル華館に於いてガバナー公式訪問の一環として「会長・幹事懇談会」が開催されました。

出席者：森田静一ガバナー、
小口健一ガバナー補佐、
平野英壽会長、木村きぬ系幹事

5. 例会変更のお知らせ

大分キャピタルRC 10月19日(第3水)の例会は、月見例会の為 同日18:30 ~ 東洋ホテル3階「瀬戸の間」に変更

大分1985RC 10月24日(月)の例会は、玖珠RCとの合同野外例会の為 10月29日(土)13:10 ~ ビッグアイに日時・場所変更

中津RC 10月26日(水)の例会は、職場例会の為 同日12:30 ~ 大分地方裁判所中津支部に場所変更

別府北RC 10月26日(水)の例会は、職場例会の為 同日12:30 ~ 老人ホーム「偕楽園」に場所変更

湯布院RC 10月26日(水)の例会は、友愛例会の為 同日12:30 ~ 事務局(喫茶クリケット)に場所変更

別府東RC 10月27日(木)の例会は、職場例会の為 同日12:30 ~ 別府消防署に場所変更

大分東RC 10月27日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30 ~ 丸福に時間・場所変更

別府RC 10月28日(金)の例会は、職場例会の為 同日12:30 ~ 大分県厚生連鶴見病院に場所変更

6. 次週の予定

「職業活動表彰および職場例会」

* さいらいし ほうしゅう
西米路豊秀さん(民謡等古典芸能の先生)をお招きし、職業活動表彰を執り行い、その後リニューアルしましたトキ八別府店を見学します。

7. 本日の回覧

「もみじ谷奉仕作業」(11月5日(土))
出・欠席

8. 本日の配布

週報792号・793号
「第28回別府市民合唱祭」パンフレット・チケット2枚

卓話

『ガバナーアドレス』

“ロータリーの新世紀を迎えて”

R第2720地区ガバナー 森田静一氏

カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長は、2005 - 06年度RIテーマとして選ばれたロータリーの標語「超我の奉仕」に新たな決意を持って臨むよう、世界中のロータリアンに呼びかけながらロータリー奉仕の第2世紀を開始されました。

ロータリーの徽章を付けたこのテーマについて、ステンハマーRI会長は、組織内における継続性への決意の表れであると述べています。



去る2月にアナハイムで開催された国際協議会に於いてステンハマー会長は、次期地区ガバナーに向けて「私たちの主たる方向は、末永く同じものでなければなりません」と語られました。

ステンハマー会長は、ロータリーの原点に戻り「超我の奉仕」を掲げられると共に、今年度の2つの強調事項として「識字率向上および教育」「水保全・飢餓・保健」とロータリーの公共イメージを選ばれました。

識字率向上への取り組みが、ロータリーの活動の主要部分を占めるのはこれで3年目となります。

「識字能力は、人間としてふさわしい生活を送るのに必要な基本的ニーズです」と述べています。「ロータリー・クラブは現在までに、読み書き、計算を習う人々を助けるための非常に多くのプロジェクトを実施してきました。

自分自身や家族を養う上で、多くの人々の制約となっているこの問題への取り組みに、ロータリアンの豊富な経験と熱意がもたらす必要とされています」と言っておられます。

ステンハマー会長はまた「10億人以上の人々がきれいな水を手に入れることが出来ないという現実の世界的な水危機を訴えながら、水保全プロジェクトへの取り組みも継続するよう、ロータリアンに呼びかけています。各地のロータリー・クラブによる水プロジェクトの成功のおかげで、今では何十万もの人々がきれいで安全な水を手に入れることができるようになりました」と会長は述べています。

以上のような諸般の事情を見るにつけ、我々2720地区としても真正面からこの問題に取り組まなければなりません。

原点に戻るといえば、忘れてならないのはクラブの自主性でございます。これから会員増強・拡大や寄付集め等様々なご要請を申し上げる訳でございますが、それは会員の皆様方に資するものであるべきものです。過剰な規則や過去の前例にこだわることなく、簡素で効率的で生き生きとしたクラブ作りこそが明日のロータリーを切り開く道であろうと考えます。

ロータリーの良き伝統を重んじ、魅力あるクラブを作る、楽しいクラブ、会員が幸せになり成長して行くクラブ、世の中のためになるクラブ、そう云うクラブと一緒に目指して行きたいと思っております。

3点の強調として

第1に、ロータリーはクラブが主体である。

第2に、ロータリーは寛容の精神がたいせつであり、寛容の精神でロータリーが融合・統一されている事。

第3に、ロータリーが他の慈善団体と異なる点は、高い職業倫理である。全く同感です。

当地区でも職業奉仕を従来どおり重視して行きたい。その為には、職業上の高い倫理性が求められます。

“最も良く奉仕する者、最も良く報われる”というモットーも残念ながら目にする事が少なくなりました。しかし、従来どおり重視して行きたいと思っております。

四つのテストもロータリーライフの具体的な指針として同じく重視したいと考えます。

ロータリーは善意の人々の集まりですが、社会に対する貢献、それも身近なところからの貢献を大事にしたいと思っております。

クラブと地区とR Iの関係では、クラブが基本であることを再確認したい。

ロータリーの伝統であるデモクラシーを大事にし、ボトムアップで考えて行きたいと思っております。

ロータリー財団の寄付は名誉ある、確実な、平和への投資であると思っております。米山も全く同じです。この達成額が3年後に地区に成果となって戻ってきます。

私はガバナーとしての一年間「超我の奉仕」によって、地区内の全てのロータリアンがバッジに誇りをもって、いつも胸に付けることができますように、少しでもお手伝いできればと考える次第でございます。

いずれに致しましても、クラブの皆様方の絶大なご協力戴かなければ何事も成し得ないのであります。

どうか「101年目だからこそ出来ること」を皆様と共に勇気を持って歩んで行こうではありませんか。

本年度のR I会長テーマは、ロータリーの第一標語と同じ「超我の奉仕」であります。

1991年の初心にかえって考えると言う事だと思っております。

皆様方においても「超我の奉仕」内容を理解し、ガバナー方針に基づいて実行して戴きますようお願い申し上げます。



森田静一ガバナー公式訪問大分第三分区6RC合同例会



会員コラム

栴田 健治

「至福の時」

ある日、中津のインド料理店「プシュカール」より、「今日、渡辺貞夫さんから予約が入ってます」と電話があった。早速、診療が終って駆けつけると、すでにナベサダさん、奥さん、リズム隊の黒人の方7名がカレーを食して盛り上っている。なんでも市民会館で青少年のリズム教室が開かれ、その打上げらしい。黒人の人達はアフリカ（主にマリ共和国）から呼んできたパーカショニストだ。昔、N.Y.C.のピレッジバンガードに行った時、ドアを開けた途端、今まで聞いたことのないドラムスのシンバルワークが「カッーン、カッーン」と耳に飛び込んで来た。あまりのすごさに鳥肌が立ち、しばらく茫然自失。我に返り誰が叩いているのかとドラムの方を見ると、そこには「ニーツ」と笑った世界一のドラマー、エルビン・ジョーンズの黒い顔があった。左様に打楽器は黒人に限るのである。

話は戻るが、ナベサダさんは食事後、その部屋にある私のステレオ（ヴィンテージのJBL）の前にイスを持っていき、パカ騒ぎをしている連中を尻目に、棚にあるCDの中から自ら選び出し聞き始めた。ジョニー・ホッジスの「ムード・インディゴ」デューク・エリントンの「マネー・ジャングル」etc...私の好みを知っているが如く、マイフェバリットソングを次々とかけていった。まさか、日本のジャズを創ったと言っても過言でないジャズの巨匠に向かって「好みが同じですね」とは言えず、二人で黙って聞いた二時間、それはまさに、私にとって「至福の時」であった。それにしても先人達の音楽を、慈しむ様に聞く真摯な態度は印象的である。ナベサダさんは聞き終わると一言「ありがとう」と言い、スピーカーに「JAMBO！」とサインをした。

次回は、鳴海淳郎会員です。